

【活動目的・内容】

●目的

手術を受けた患者さんの痛みや吐き気を緩和するように支援する専門のチームです
術後の痛みや吐き気などの副作用を緩和し、患者さんの安心、合併症予防、早期回復を目的
としています。そのため、主治医や病棟の看護師とともに協力しながら患者さんを診ていま
す

●内容

- 1.術前に麻酔科医が手術を受ける患者さんに対して、「術後疼痛管理計画書」に沿って術後の痛み、吐き気に対する対応を説明しています
- 2.手術を受けている段階から術後の痛み、吐き気の対策を行っています
- 3.術翌日、術後疼痛管理チームによる回診の実施し、術後の痛み・吐き気の評価を行います
- 4.主治医、病棟看護師と情報を共有し、共同して痛みや吐き気の管理を行っています

【活動職種】

医師：麻酔科医師

看護師：手術看護認定看護師、手術室看護師

薬剤師：術後疼痛管理研修を修了した薬剤師

【対象となる患者さん】

全身麻酔で手術され、局所麻酔薬の持続注入（硬膜外麻酔、持続神経ブロック）・麻薬の持
続静脈内注射が行われている方

【活動チームからひと言】

手術を受けられる患者さんは、『病気』のことだけでなく『手術の痛み』も気になることと
思います。手術後の痛みをできるだけ軽くし、安心して回復していただくために「術後疼痛
管理チーム」が活動しています。 麻酔科医師・薬剤師・手術室看護師など専門職がチーム
で、お一人お一人に合わせた痛みのケアを行っています。我慢せず、気になることがあれば
遠慮なくスタッフへお声がけ下さい。安心して治療・回復に専念できるようサポートさせて
いただきます。

